

1 はじめに

沼津市は首都圏から 100 k m圏内に位置し、伊豆半島のゲートウェイとしての地の利や沼津港、沼津アルプス、狩野川等の観光スポットに加え自然も豊富にあり、静岡県東部の拠点都市として発展してきました。

しかし、近年の人口減少や少子高齢化の進展、新東名高速道路や東駿河湾環状線などの新たな交通基盤の整備、東日本大震災等の大規模な地震災害の教訓を踏まえた自然災害への対応など、社会・経済状況の変化をはじめとした市のまちづくりを取り巻く環境が大きく変化しています。

このような中、本市は都市計画に関する基本的な方針である「第2次沼津市都市計画マスタープラン」や、中心市街地を魅力とにぎわいに満ちた都市の顔として将来にわたって維持していくための指針である「沼津市中心市街地まちづくり計画」を策定し、持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

とりわけ、これからの中心市街地は、沼津駅周辺総合整備事業により都市の空間が今後大きく変わろうとしています。国内外の様々な先進的な取組をしている都市においては、このような都市空間をヒト中心の空間に転換していくことがまちづくりの潮流となっています。

本市としましては、中心市街地が都市の顔として人が集まり楽しく快適に過ごせる魅力的な空間となるよう検討を深めていくため、平成 29 年度に「まちづくり戦略会議」を開催し、中心市街地の現状と課題等を整理するとともに、市の重要施策である沼津駅周辺総合整備事業の進捗を見据え、新たに検討すべき重要な事項について議論をしてきました。

本市の中心市街地のまちづくりが大きく変わる重要なタイミングであり、まちづくりの新たな潮流であるヒト中心のまちづくりを実践している先進的な都市が見られる中で、本稿は、有識者からいただいた意見を踏まえ、市として中心市街地のまちづくりにおける検討の考え方について中間的に整理を行ったものです。

今後は、この考え方を踏まえて市民や地元事業者、まちづくりに関わる関係機関などと具体的な戦略や施策を検討して情報を共有していくとともに、それらの内容を沼津市都市計画マスタープラン等の計画へ反映することを想定しています。